

[報告]

サイバーサイエンスセンターオープンキャンパス報告

小松 一彦

スーパーコンピューティング研究部

今年も東北大学 オープンキャンパスが開催されました。進学を考えている学生や、東北大学の研究や活動に興味・関心を持っている一般の方々に向けて、年に1回開催されており、今年は7月27日と28日の2日間に渡り開催されました。サイバーサイエンスセンターでは、「スパコンを見に行こう!」「ネットワークを知ろう!」の2つのキャッチフレーズを掲げ、大規模科学技術計算を支える最新型スーパーコンピュータ、計算結果を分かりやすく可視化する3次元可視化システム、東北の大学ネットワークを支えるネットワーク機器、大規模計算機の歴史的資料を展示しているコンピュータ博物館を一般に公開しました。また、ネットワーク研究部、スーパーコンピューティング研究部、先端情報技術研究部の研究成果を展示しました。

津波被害予測、熱中症予測などの大規模シミュレーションを支えるスーパーコンピュータや、大学のインフラを支えるネットワークへの関心も高く、1700人以上の方々にご来場いただきました。計算機専用棟(サイバーサイエンスセンター2号館)に導入された最新型スーパーコンピュータSX-ACEや関連設備を見学し、スーパーコンピュータの大きさやその音、冷却するための冷風などを肌で感じていただきました。また、50インチモニタ12面からなる可視化システムを用いて、スーパーコンピュータでの計算結果の3次元可視化結果を体験していただきました。コンピュータ博物館では、歴史的価値の高いスーパーコンピュータやネットワーク機器、資料などを見学して、スーパーコンピュータの歴史を巡りました。これらを通じて、スーパーコンピュータやネットワークが研究だけでなく、実生活にどのように役立っているのかを感じてもらえたと思います。研究開発部の展示では、情報セキュリティ・スーパーコンピュータ・サイバー医療に関する研究活動だけでなく、大学生活や大学での講義などについても、職員や学生と交流しておりました。来年度のオープンキャンパスも一般に公開する予定です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

